

革新型 ブレークスルー研究

挑戦的な目標を設定し、リスクを取って革新的、画期的な科学技術を発掘、育成し、これまでの延長ではない新たな機能、技術を創る研究を行います。



実証型 ブレークスルー研究

企業等が持つ様々な技術を組み合わせ、将来の戦いに必要な機能、能力をできるだけ早く創る研究を行います。



ATLA
Acquisition, Technology &
Logistics Agency



防衛装備庁

<https://www.mod.go.jp/atla/index.html>

Location

防衛装備庁内部部局

〒162-8870 東京都新宿区市谷本村町5-1 TEL:03-3268-3111(代表)

航空装備研究所

〒190-8533 東京都立川市栄町1-2-10 TEL:042-524-2411(代表)

陸上装備研究所

〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺2-9-54 TEL:042-752-2941(代表)

艦艇装備研究所

〒153-8630 東京都目黒区中目黒2-2-1 TEL:03-5721-7005(代表)

新世代装備研究所

〒154-8511 東京都世田谷区池尻1-2-24 TEL:03-3411-0151(代表)

防衛イノベーション科学技術研究所

〒150-6023 東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー23階
TEL:03-6626-5509(代表)

防衛装備庁 研究開発

Acquisition,
Technology & Logistics
Agency

Research and Development



Going forward with innovation

極超音速誘導弾の研究

相手の脅威圏外から極超音速で飛しょうが可能で、迎撃が難しいとされており、早期装備化を目指して研究しています。



高出力レーザに関する研究

高出力レーザを目標に照射し、瞬時にダメージを与えることができる高出力レーザシステムの研究です。



UGV技術の研究

舗装されていない不整地や、地図が使用できない状況、GPSのようなGNSS*1が使用できない状況等でも自律走行が可能な、偵察・警戒、物資輸送等での使用を目的としたUGV*2の研究を進めています。

* 1 Global Navigation Satellite System

* 2 Uncrewed Ground Vehicle



次期戦闘機の開発

日英伊三か国は次期戦闘機の共同開発を進めています。三か国の技術を結集し、コスト等を分担しつつ、将来の航空優勢を担保する優れた戦闘機を開発します。



次期戦闘機と連携する無人機の研究 (無人航空機へ適用するAI技術)

次期戦闘機等と連携する無人機を実現するため、無人機の行動判断や状況認識にAI関連技術を適用する研究や有人機と無人機の効果的な連携に必要な技術の研究を行っています。



レールガンの研究

レールガンは、電気エネルギーを利用して弾丸を加速、発射します。従来の火炮では実現できない高初速で弾丸を発射することができ、より大きな威力で、より遠方の目標への対処が可能になります。



長期運用型UUVの研究

モジュールを交換することで、警戒監視や海洋観測等の多様な任務に対応が可能となる、モジュール型UUV*の研究を進めています。

* Uncrewed Underwater Vehicle

